

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成29年度採択）

中間評価（案）（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
29-4	観光流動把握を目的とした交通流動推定システムの研究開発	京都大学 教授 宇野 伸宏	A
<p><研究の概要></p> <p>観光流動の把握を主たる目的とし、ETC2.0、携帯電話系データ、経路探索履歴データなど様々なビッグデータを活用し、観光トリップを主とした都市内の移動に関して、そのトリップパターンおよびトリップチェーン流動を推定するシステムを開発する。</p> <p><中間評価結果></p> <p>都市内の観光流動を対象に、トリップパターン推定モデル、トリップチェーン推定モデルの構築を進めており、交通マネジメント施策の効果把握に向けて成果が期待できることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">1. 構築したトリップパターン推定モデル・トリップチェーン推定モデルと、交通マネジメント施策の効果把握との関係性を明確にし、交通マネジメント施策の評価を進める手順を導くことが望ましい。2. 交通流動推定システムを用いて効果を検証する交通マネジメント施策について、その対象範囲を明確にしつつ、具体的検討を進めることが望ましい。3. 本研究開発に関する一連の知見から、観光渋滞対策として、交通マネジメント施策につながる実務上有益な示唆が得られることを期待する。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第36回新道路技術会議において審議したものである。